

自筆証書遺言の方式（全文自書）の緩和方策として考えられる例

1 遺言書本文（全て自書しなければならないものとする。）

遺言書

- 1 私は、私の所有する別紙目録第1記載の不動産を、長男甲野一郎（昭和〇年〇月〇日生）に相続させる。
- 2 私は、私の所有する別紙目録第2記載の預貯金を、次男甲野次郎（昭和〇年〇月〇日生）に相続させる。
- 3 私は、上記1及び2の財産以外の預貯金、有価証券その他一切の財産を、妻甲野花子（昭和〇年〇月〇日生）に相続させる。
- 4 私は、この遺言の遺言執行者として、次の者を指定する。
住 所 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇
職 業 弁護士
氏 名 丙山 太郎
生年月日 昭和〇年〇月〇日

平成28年4月12日

住所 東京都千代田区霞が関1丁目1番1号

甲 野 太 郎 (印)

2 別紙目録（署名部分以外は自書でなくてもよいものとする。）

物件等目録

- 第1 不動産
- 1 土地
- 所 在 ○○市○○区○○町○丁目
地 番 ○番○
地 積 ○○平方メートル
- 2 建物
- 所 在 ○○市○○区○○町○丁目○番地○
家屋番号 ○番○
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 ○○平方メートル
2階 ○○平方メートル
- 3 区分所有権
- 1 棟の建物の表示
- 所 在 ○○市○○区○○町○丁目○番地○
建物の名称 ○○マンション
- 専有部分の建物の表示
- 家屋 番号 ○○市○○区○○町○丁目○番の○○
建物の番号 ○○
床 面 積 ○階部分 ○○平方メートル
- 敷地権の目的たる土地の表示
- 土地の符号 1
所在及び地番 ○○市○○区○○町○丁目○番○
地 目 宅地
地 積 ○○平方メートル
- 敷地権の表示
- 土地の符号 1
敷地権の種類 所有権
敷地権の割合 ○○○○○分の○○○
- 第2 預貯金
- 1 ○○銀行○○支店 普通預金
口座番号 ○○○
- 2 通常貯金
記 号 ○○○
番 号 ○○○

甲 野 太 郎 (印)